

医療機器産業ビジョン

(画像診断領域及び周辺領域における視点整理)

現状分析と課題を整理し10年後の医療提供体制の姿を捉え新たな医療ニーズに対応した技術開発を産官学一体となり創出する。結果、国際競争力のある医療機器産業の構造を研究・開発・生産・販売の一連の政策ビジョンを基に国としての支援策をアクションプランとして提示し予算化実施。イノベーション促進のための集中期間は2002~2006。(医療機器メーカー自らの努力と国の支援により具体化)

医療の流れから、クロスマーケットの有無を確認市場変化から、要望とされるニーズを考える。JIRAとして画像診断領域等、早急な技術開発と周辺技術の環境整備を考える。

30兆規模・・・2025(30兆)
自然増は抑制不可・老人医療の影響よりも医療の高度化と人材費と重篤患者長期入院によるコスト増が深刻要因となる。

継続した医療の流れ

(医療領域移行前水際防止)

電子カルテや医療情報ネットワークで一貫した医療提供のシステムが同時に構築される

4兆円
2025ピーク
20兆円



健康増進 疾病予防

総合検査 専門分野

診断領域

治療領域

回復リハビリ

在宅医療

介護

健康指導・栄養指導
妊産婦指導
数値目標/数値管理

総合ドック
専門ドック
脳ドック
婦人ドック
スポーツ
高齢者
小児

市場規模頭打ち
重要度現状維持

在宅医療
ヘルソイト医療
応用

療養病床
緩和ケア

リスク
現状維持

介護

要望される技術システム

経時サブストラクチャー
部分画像抽出比較

コアコンピタンス
深耕

診断報告と連携

応用化

高性能診断/治療装置
CT/MRI+PET (複合画像診断)
分子イメージング (分子イメージング) 遺伝子酵素蛋白

ポータブル・ユニット化

超小型単純エックス線撮影診断システム (小型化) (機能維持モジュール)
救急車両搭載型CT
超音波診断/簡易検体検査
ナノテクによるバイオチップ臨床検査

ドクターカー
在宅
ODA
災害救助
国際救助

自動診断解析転用
医療システム機器の国際貢献

通信/情報
マルチメディア多用した
救急活動

CAD (診断支援システム開発)
乳房、胸部、肺、骨、結腸大腸、頸病学的骨形成 (データベースによるアルゴリズム)

診断支援
HIS/RIS/PACSへの順応

PACS環境の整備

Web Technology使用
DICOMの使用

データ分析
目標数値管理共有化

新規技術開発・応用

関連用品裾野拡大

情報共有化活用応用 (知識データベース構築)

遠隔医療・ネットワーク医療 (遠隔手術ロボット支援等含む) の画像情報高機能化 (静止画像/動画像) ファンクショナルカラー応用技術

データセンター機能 (ASP等の効果的応用)

バイオメトリクス

自動車産業との連携

必要度高い

センター・ハード計画

防衛庁を含め 国家的対応 (官民合同)

航空機他関連 業界との連携

アジア、オセアニア対象とした 救急医療の実施・研究・教育 安全・危機管理に不可欠 我が国の国家的プロジェクト

医療事故防止 医療安全対策 医療機器維持管理システム 環境負荷対策 情報セキュリティ

医療機器産業ビジョン (画像診断領域及び周辺領域における視点整理)

現状分析と課題を整理し10年後の医療提供体制の姿を捉え新たな医療ニーズに対応した技術開発を産官学一体となり創出する。結果、国際競争力のある医療機器産業の構造を研究・開発・生産・販売の一連の政策ビジョンを基に国としての支援策をアクションプランとして提示し予算化実施。イノベーション促進のための集中期間は2002~2006。(医療機器メーカー自らの努力と国の支援により具体化)

医療の流れから、クロスマーケットの有無を確認
市場変化から、要望とされるニーズを考える。
JIRAとして画像診断領域等、早急な技術開発
と周辺技術の環境整備を考える。

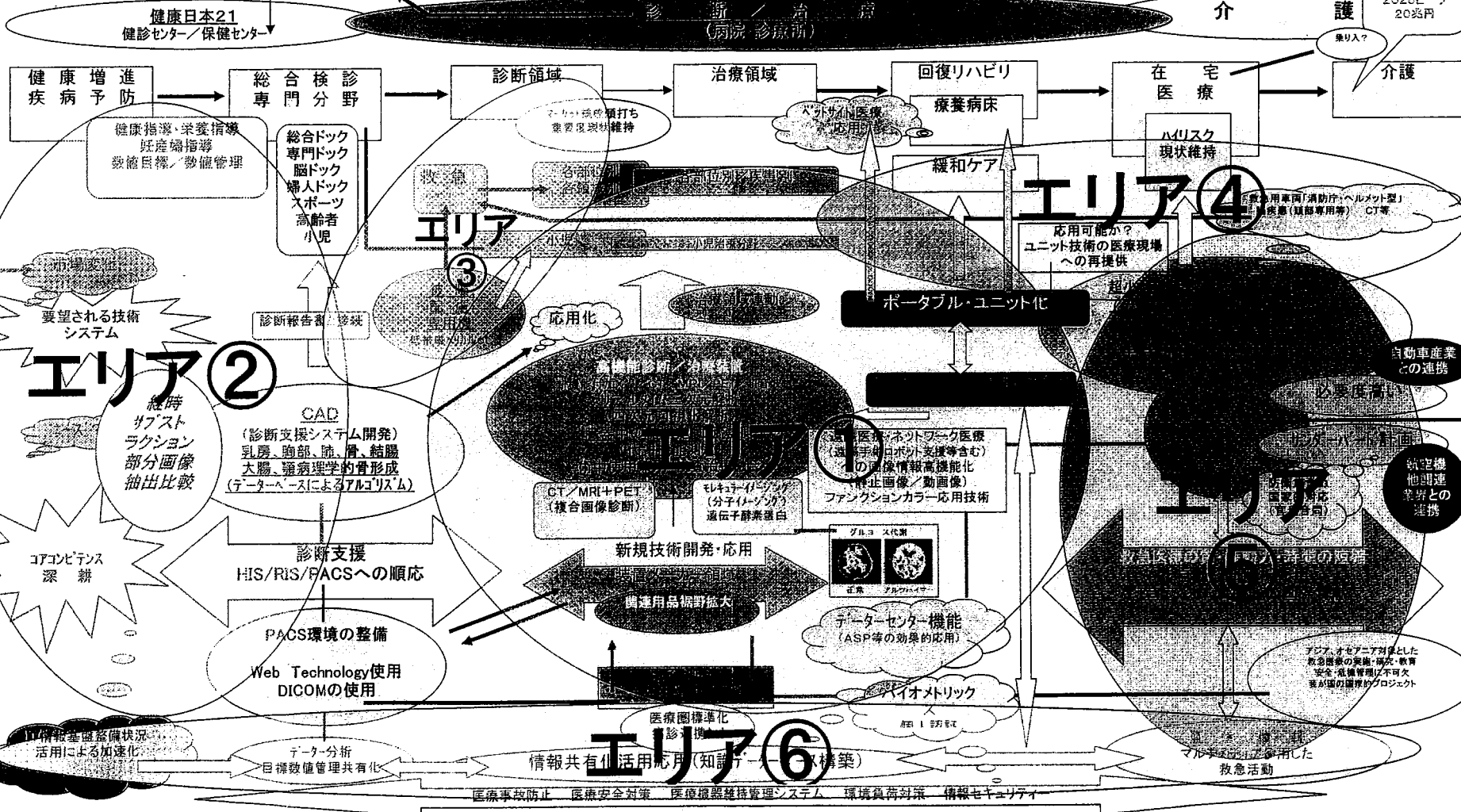
30兆規模...2025(90兆)
自然増は抑制不可・老人医療の影響よりも医療の高度化&人件費&
重篤患者長期入院によるコスト増が深刻要因となる。

継続した
医療の流れ

(医療領域移行前水際防止)

電子カルテや医療情報ネットワークにて一貫した医療提供のシステムが同時に構築される

4兆円
2025ピーク
20兆円



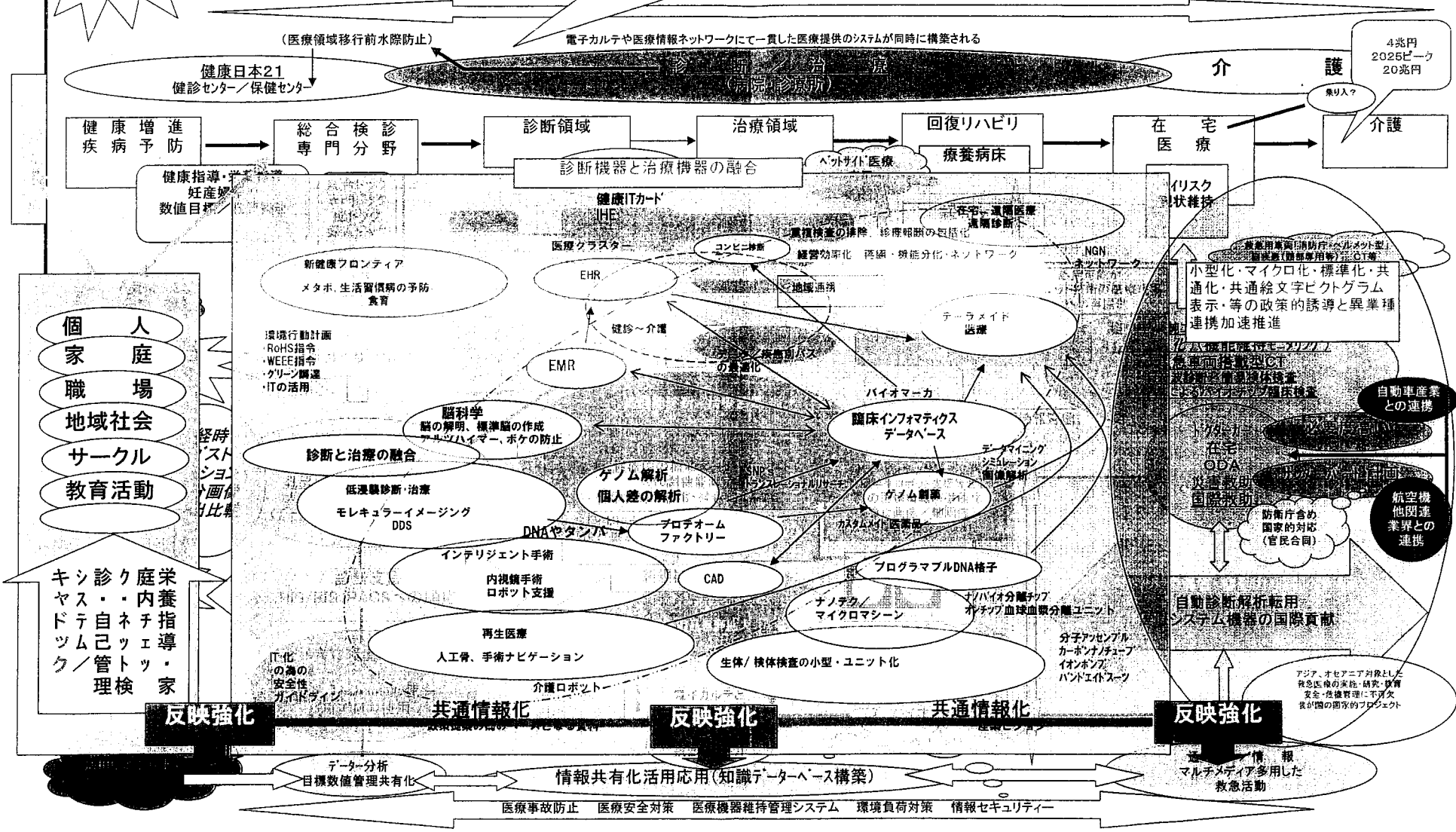
医療機器産業ビジョン (画像診断領域及び周辺領域における視点整理)

現状分析と課題を整理し10年後の医療提供体制の姿を捉え新たな医療ニーズに対応した技術開発を産官学一体となり創出する。結果、国際競争力のある医療機器産業の構造を研究・開発・生産・販売の一連の政策ビジョンを基に国としての支援策をアクションプランとして提示し予算化実施。イノベーション促進のための集中期間は2002~2006。(医療機器メーカー自らの努力と国の支援により具体化)

医療の流れから、クロスマーケットの有無を確認
市場変化から、要望とされるニーズを考える。
JIRAとして画像診断領域等、早急な技術開発
と周辺技術の環境整備を考える。

36兆規模...2025(80兆)
自然増は抑制不可・老人医療の影響よりも医療の高度化&人件費&
重症患者長期入院によるコスト増が深刻要因となる。

継続した
医療の流れ



4兆円
2025ピーク
20兆円

在宅医療
介護

リスク
状態維持

小型化・マイクロ化・標準化・共通化・共通線文字ビクトグラム表示・等の政策的誘導と異業種連携加速推進

自動車産業との連携

航空機他関連業界との連携

自動診断解析転用システム構築の国際貢献

アジア、オセアニア対象とした緊急医療の実施・研究・教育安全・危機管理に不可欠我が国の国際的プロジェクト

反映強化

反映強化

反映強化

情報共有化活用応用(知識データベース構築)

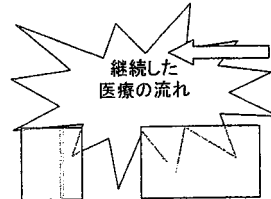
医療事故防止 医療安全対策 医療機器維持管理システム 環境負荷対策 情報セキュリティ

医療機器産業ビジョン
(画像診断領域及び周辺領域における視点整理)

現状分析と課題を整理し10年後の医療提供体制の姿を捉え新たな医療ニーズに対応した技術開発を産官学一体となり創出する。結果、国際競争力のある医療機器産業の構造を研究・開発・生産・販売の一連の政策ビジョンを基に国としての支援策をアクションプランとして提示し予算化実施。イノベーション促進のための集中期間は2002~2006。(医療機器メーカー自らの努力と国の支援により具体化)

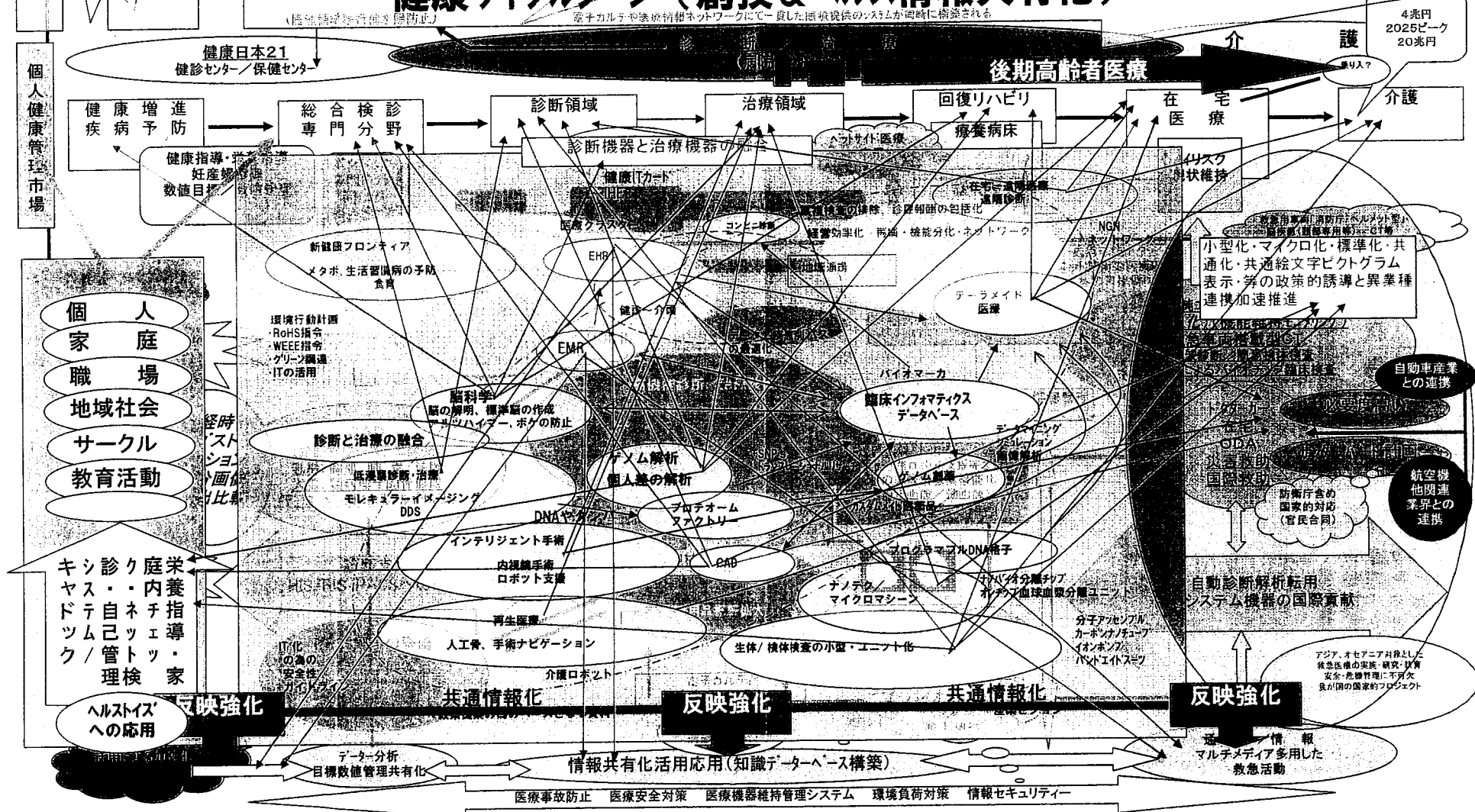
医療の流れから、クロスマーケットの有無を確認
市場変化から、要望とされるニーズを考える。
JIRAとして画像診断領域等、早急な技術開発
と周辺技術の環境整備を考える。

30兆規模...2025(80兆)
自然増は抑制不可・老人医療の影響よりも医療の高度化&人件費&
重篤患者長期入院によるコスト増が深刻要因となる。



健康サイクルシーン (創技&ヘルス情報共有化)

電子カルテや遠隔情報ネットワークにて一度した医療提供のシステムが同時に構築される



4兆円
2025ピーク
20兆円

- 個人健康管理市場
- 個人
- 家庭
- 職場
- 地域社会
- サークル
- 教育活動

- ヘルスライフへの応用
- 家庭内
- 診療
- セルフ
- 管理
- 栄養指導
- 在宅医療
- 自己管理
- 健康管理

ヘルスライフへの応用

反映強化

共通情報化

反映強化

共通情報化

反映強化

データ分析 目標数値管理共有化

情報共有化活用応用(知識データベース構築)

マルチメディア多利用した 救急活動

医療事故防止 医療安全対策 医療機器維持管理システム 環境負荷対策 情報セキュリティ